

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	岩見沢市			代表者名	松野 哲
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画財政部情報システム課情報システム係	連絡先電話番号	0126-35-4884
担当者役職	係長	担当者氏名	毛利 健二	連絡先E-mail	
住所	068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘1-1-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	スマート・デジタル自治体推進事業
概要	人口減少に伴う職員定数削減及び住民サービスの多角化により職員の業務負担及び業務時間が増加しており、生成AIやRPAなどデジタルツールを活用することで業務の効率化を図る必要がある。生成AIの導入に向けた全庁的な機運醸成を図るための手法やプログラム内容、利用にあたるルール（利用規約）の策定について助言をいただきたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 計画策定支援 生成AI活用		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年9月22日	事前打合せ&支援・助言(実地)	9時00分	17時00分	60
				活動時間（分）	420
2-2. 派遣場所	会場名	岩見沢市役所		最寄駅	岩見沢駅
	所在地	北海道岩見沢市鳩が丘1-1-1		最寄駅からの交通手段	バス

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	碓井 洋寿
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	アドバイザーが自身の経験した自治体職員の機運醸成を図る取り組みや、生成AIに関する動向、利用にあたるセキュリティやガイドラインについて、かなり詳しくかつわかりやすく説明してくれ、理解力を大きく深めることができた。また、当市のネットワークやシステム環境についても技術的な目線で助言をしてくれ、今後生成AI活用を考慮したネットワーク設計のビジョンをイメージすることができた。全庁的な勉強会についても、当市の進め方や考えを最大限に汲み取ってくれ、助言をしてくれた。本支援の目的であった、「行政職員向けの生成AIの利用規約」の策定方針や勉強会の企画立案が達成することができた。
アドバイザーへの要望事項	引き続き貴重な経験談や、アドバイザーが知り得た知見や情報を共有していただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	8人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	8		その他(学生など)

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	・「行政職員向けの生成AIの利用規約」の策定に向けたネットワーク環境やセキュリティに対する知識不足 ・生成AIの業務運用を全庁的に進めるための運営側の体制・ノウハウや生成AIエバンジェリストの創出・育成方法のノウハウ不足
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	・ネットワーク環境の整備やセキュリティ対策等を考慮した「行政職員向けの生成AIの利用規約」の策定方針の確立 ・生成AIの業務運用を全庁的に進めるための勉強を通じた職員の機運醸成方法やそれを様々な職員へ波及させて生成AIエバンジェリストの創出・育成方法のノウハウ獲得

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)	・アドバイザーが自身の経験した自治体職員の機運醸成を図る取り組みや、生成AIに関する動向、利用にあたるセキュリティやガイドラインの説明及び職員が生成を活用するためのノウハウ ・当市のネットワークやシステム環境に対する生成AI活用を考慮したネットワーク設計に関する技術的な助言 ・全庁的な勉強会の企画及び進め方の助言	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	・「行政職員向けの生成AIの利用規約」の策定に向けたネットワーク環境やセキュリティに対する知識不足の解消 ・生成AIの業務運用を全庁的に進めるための運営側の体制・ノウハウのや生成AIエバンジェリストの創出・育成方法のノウハウ不足の解消	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	生成AIを本格的に導入してゆくにあたって解決すべき課題について受けた助言をもととして、今後のマイルストーンごとに詳細なタスクとして整理し、視覚的に進捗管理できるようにしたタスク整理シートを作成した。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(E X C E LやP D Fでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	今回の支援に参加した職員からアンケートを収集し、各々が考える課題や今後の支援に向けての希望を整理した(別添PDF「第1回地域情報化アドバイザー派遣アンケート」のとおり)	
4ー3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
4ー4. 事業の最終的な目指す姿	・「行政職員向けの生成AIの利用規約」に基づいた生成AIを活用した業務運用の開始 ・生成AIの業務運用を全庁的に進めるための運営側の体制の確立、生成AIエバンジェリストの創出	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	☐ 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

